

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

自然と共生の環境にやさしい町づくり

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県邑智郡邑南町

3 地域再生計画の区域

島根県邑智郡邑南町の全域

4 地域再生計画の目標

邑南町は、平成16年10月に石見町、瑞穂町、羽須美村の3か町村で合併誕生した町であり、島根県の中南部の東経132度31分から71分、北緯34度77分から96分に位置し、西側は那賀郡旭町、北側は江津市・川本町・美郷町、南側は広島県安芸高田市・北広島町、東側は広島県三次市に接しており、面積419.2km²の広大な地域である。

中山間地に代表的な盆地の多い地形で、東側の羽須美地域をはじめ低地の割合も多く、そのほとんどは標高100～600mの地域となっている。町中心部は石見盆地内に住宅や農地が広がり、病院、学校、事業所、行政機関など新町の主要施設が集中する。また、邑南町は島根県の中央部、山間地域にあり、緑豊かな自然に恵まれ農林業の振興、レクリエーションリゾート作りの推進、定住促進や、高齢者や障害者に配慮した福祉の町づくりを推進している。

また、邑南町は、一級河川である江の川の最上流部に位置することもあり、下流域への水質改善による飲料水の確保が上げられる。さらに、近年の水質悪化でホタルが減っている現状もあり、自然界の生態系を守るためにも、下水道および合併浄化槽工事による環境への配慮を急ぐ必要がある。

この目的を達成するため、近年生活様式の変化により、悪化している

河川や農業用水路など、公共用水域の水質改善やトイレの水洗化による生活環境の改善と、地域の基盤整備を目標とし下水道および合併浄化槽整備を推進する。

これにより、羽須美地区でのほたる館でほたるの養殖や瑞穂地区の「ハンザケ（オオサンショウウオ）観察会」の開催、さらには清流魚のもどる水環境を通じて、豊かな自然を体験し、これらを観光学習・観光資源の一つとして観光客誘致と人口定住の促進になるよう推進していく。

（目標１）

污水处理施設の整備の促進

（污水处理人口普及率を 80%から 87%に向上）

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

地域再生計画の目標を達成するため、公共下水道および合併浄化槽（市町村設置型）事業による工事を実施し、宅内からの生活排水に始まる污水处理を効果的に行うことにより、水質改善を図るものとする。

また、下水道事業については、下水道法による事業認可をすでに許可済みであります。

5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

污水处理施設整備交付金を活用する事業

[事業主体]

島根県邑南町

[施設の種類]

公共下水道、浄化槽

[事業区域]

・公共下水道

島根県邑南町 石見地区矢上・中野・井原集落

・浄化槽

島根県邑南町の公共下水道区域を除く区域

[事業期間]

公共下水道 平成 17 年度～平成 21 年度
浄化槽（市町村設置型） 平成 17 年度～平成 21 年度

[整備量]

・公共下水道 VU 150mm 10,200m
・浄化槽（市町村設置型） 5～10人槽 400基

[事業費]

・公共下水道 562,000 千円
(うち、単独 52,000 千円)
(うち、国費 255,000 千円)

・浄化槽（市町村設置型） 453,330 千円
(うち、国費 151,110 千円)

・合計 1,015,330 千円
(うち、単独 52,000 千円)
(うち、国費 406,110 千円)

5 - 3 その他の事業

(1) 羽須美地区でのほたる館でほたるの養殖

[ほたる祭り] を 6 月中旬に行っており、巡回バスを出し 100 名程度の参加がある。夕方から実施。水質がきれい
でないと住みつかないホテルを間近で観察出来る。

(2) 瑞穂地区の「ハンザケ（オオサンショウウオ）観察会」

夏休み期間中、観察館において家族連れを対象にして、2
回、夜間に自然のままのハンザケ観察会を行っている。1
回の参加者は 20 名程度。

6 計画期間

平成17年度 ~ 平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査・評価し、公表する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

汚水処理施設整備計画については、最新のデータに基づいて施設計画を再検討したものであり、既存の都道府県構想に掲載された計画と異なる計画としたため、次回の都道府県構想の見直し時に反映することとする。